

広報ひこね



犬上川の土手、今橋付近の桜（開出今町）



桜の木の横に立つ遠崎さん

表紙では、「住みたい 住み続けたいまち」彦根の表情を写真で紹介しています。写真をお持ちでない場合は、**市情報政策課**広報係で撮影します。☎22-1411（内線431）へ気軽に連絡してください。

表紙のことば

遠崎助一さん（開出今町）

開出今町は、歴史のなかで、幾度も水害に遭ってきました。昭和28年の台風では、犬上川の堤防が5か所も決壊し、大被害を被りました。川原のようになった田畑を見て、元に戻すのは不可能では、と思われるような状況でした。

ところが、開出今町民の努力と、市内各地から駆けつけた人たちの献身的な協力で、田畑上の砂礫を少しずつ取り除く作業が続けられ、6か月後には見事に復旧したのでした。

その時の記憶を風化させないために植えられたのが、表紙写真の桜並木です。今橋を起点に600mにわたり、犬上川の土手に植えられました。今では幹周り1mを越す巨木となり、満開時には道行く人も歩を休める美しさで、わが町の自慢の一つです。